

生涯学習・社会教育関係職員研修講座【中南地区研修】

8月30日(火)13:30~16:00 平川市文化センター 受講者31名

1 趣旨

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と、人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る。

2 内容

【講義・演習】「家庭教育支援のために」

講師 県総合社会教育センター職員

及びあおもり家庭教育アドバイザー 工藤 貴子 氏



工藤 貴子 氏

3 講義要旨

- 様々な調査によると、核家族、共働き世帯・ひとり親世帯が増加し、親が祖父母などから子育てに関して学ぶ機会も減り、相談・協力できる人が家族にいない等、親だけで子育てを担わなくてはならなくなっている。
- 一人親世帯は、経済的な支援や託児機能の強化を望んでおり、講座や研修には期待値が低い。しかし、親自身が学びによって子育てのスキルを高めて行く教育的支援が、長期的視点に立てば有効である。
- 「親楽プログラム」には、親の学びが詰まっている。「あおもり家庭教育10か条」と併せ、親の学びの充実のため、活用してもらいたい。

4 アンケート結果から

受講結果に満足	60%	どちらかと言えば満足	36%
どちらかと言えば不満	0%	不満	0%

(無回答があったため、100%になりません。)

(受講者の感想)

- 本県における家庭教育の現状と課題、解決について学ぶことができました。家族の多様化に応じた対応が大切だと感じました。実際にワークをしてみて、いろいろな意見があり、参考になりました。
- ひとり親家族は、悩み事が多く経済的にも厳しく、孤立化していく現状がわかった。県の社会教育センターでは、いろいろな事業をやっている事を知ることができて良かった。家庭教育アドバイザーの活用は、とても有意義な事だと思いました。当たり前事に感謝することの大切さを感じました。今の家庭環境と昔は、かなり変化しているんだと感じました。
- 工藤さんの進行が上手で、気づかされた部分が色々ありました。家庭教育アドバイザーとして、私も勉強し、成長していかなければいけないと感じました。今日は、本当に感謝が多い一日でした。ありがとうございました。

各種調査統計資料から、県が捉えている家庭教育支援の現状と課題について当センター職員が説明すると共に、親の学びのために活用することを目的とした参加型学習プログラム「あおもり親楽プログラム」を、受講者全員で体験しました。あおもり家庭教育アドバイザーの温かい進行により、受講者は自分の思いを伝える楽しさと共に、家庭教育支援の大切さを感じていました。